

第2章 図書館サービス振興基本計画(第2次)における取組・成果

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

- (1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館
- (2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館
- (3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館
- (4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

【主な取組】

- ・「防府図書館資料収集要綱」と「防府市立防府図書館資料保存及び除籍要綱」の見直しによる資料の保存と廃棄
- ・館内で持ち運んで利用できる資料検索などのためのタブレット端末機の導入やフリースポットWi-Fiの新設
- ・図書館の照明器具をLED化へ改修
- ・コロナ禍による休館中も臨時受付を設け、予約資料の貸出や予約・リクエストの受付、移動図書館車「わっしょい文庫」の運行を継続
- ・ホームページのリニューアルやSNS「インスタグラム」(※8)の情報発信を開始
- ・令和4年10月から電子図書館を開館
- ・電子図書館にて「防府史料」等の郷土デジタルコレクション(※9)の公開
- ・電子図書館に「児童書読み放題パック(※10)」資料提供を開始



移動図書館車「わっしょい文庫」

【図書館のデータ推移】

分類別の図書受入及び蔵書冊数は以下のとおりです。

○分類別図書受入冊数及び蔵書冊数 (令和7年3月31日現在、単位：冊)

	分類別	令和2年度末 冊数	令和6年度末 冊数	4年間の 増加冊数	
一 般	0 総記	12,415	12,671	256	
	1 哲学	17,761	18,586	825	
	2 歴史	35,068	36,347	1,279	
	3 社会科学	64,099	67,957	3,858	
	4 自然科学	31,560	33,203	1,643	
	5 技術	40,580	40,454	-126	
	6 産業	16,624	17,458	834	
	7 芸術	30,464	32,644	2,180	
	8 言語	8,150	8,583	433	
	9 文学	114,052	121,670	7,618	
		計	370,773	389,573	18,800
児 童	0 総記	1,496	1,661	165	
	1 哲学	1,240	1,395	155	
	2 歴史	5,105	5,038	-67	
	3 社会科学	4,613	5,159	546	
	4 自然科学	8,252	8,495	243	
	5 技術	3,281	3,508	227	
	6 産業	1,904	2,041	137	
	7 芸術	4,640	4,937	297	
	8 言語	1,563	1,709	146	
	9 文学	38,245	39,502	1,257	
		絵 本	37,171	39,270	2,099
		紙芝居	2,217	2,001	-216
		計	109,727	114,716	4,989
合 計		480,500	504,289	23,789	
郷 土	山口県	11,439	12,557	1,118	
	防府市	10,400	11,474	1,074	
合 計		21,839	24,031	2,192	
外国語の図書		3,307	4,014	707	
点字図書等		358	1,438	1,080	
総 計		506,004	533,772	27,768	

※点字図書…R2は点字図書のための冊数。R6は、大活字本とデージー図書(※11)含む。

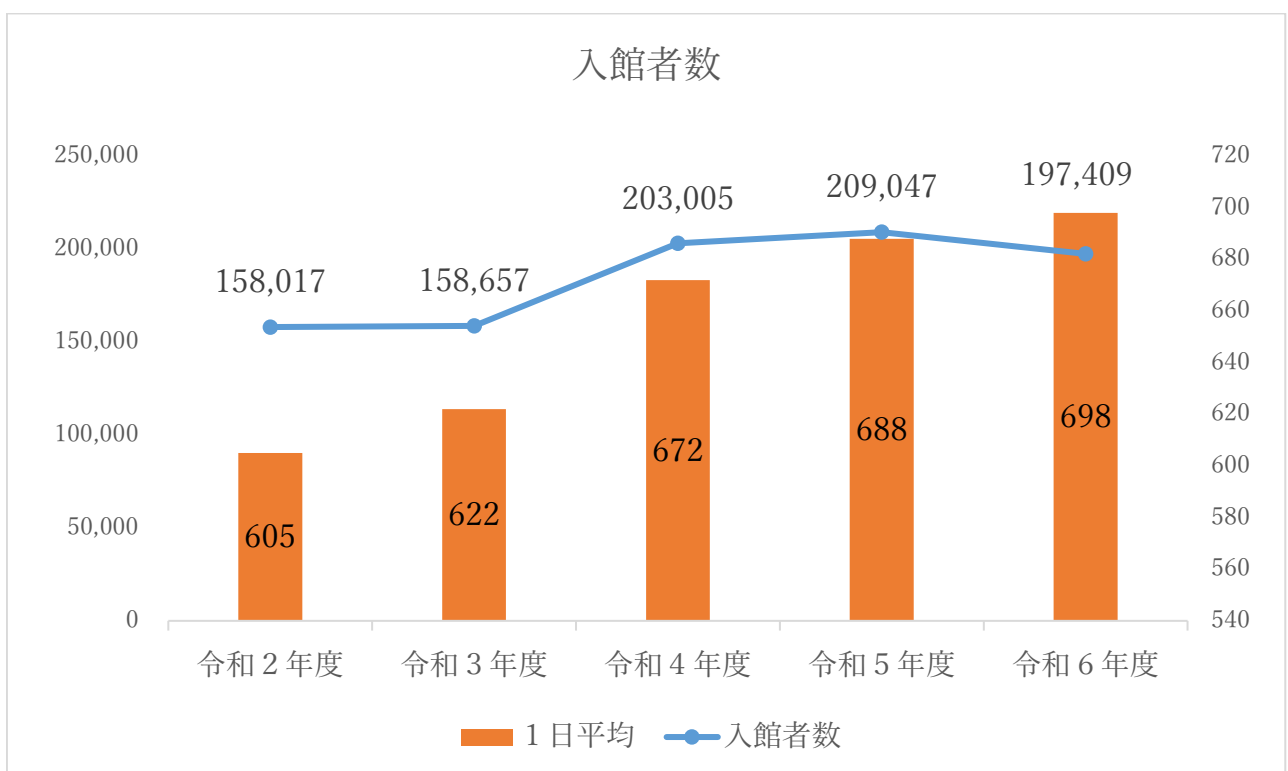
資料費については、令和5年度の人口10万人以上15万人未満の都市98市区の図書館資料費決算総額全国平均(「図書館年鑑2024」より)の33,510千円(新聞・雑誌を含む)には、達していませんが、人口一人当たりでは、県内他市とほぼ同額です。

○資料費推移 (単位：円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
図書館	24,221,817	24,430,217	24,511,999	23,562,203	24,189,039
A V資料	750,257	823,797	733,527	768,509	791,430
新聞・雑誌等	4,717,617	4,791,124	4,894,620	4,707,189	4,714,092
合計	29,689,691	30,045,138	30,140,146	29,037,901	29,694,561

○開館日数及び入館者数推移 (単位：日、人)

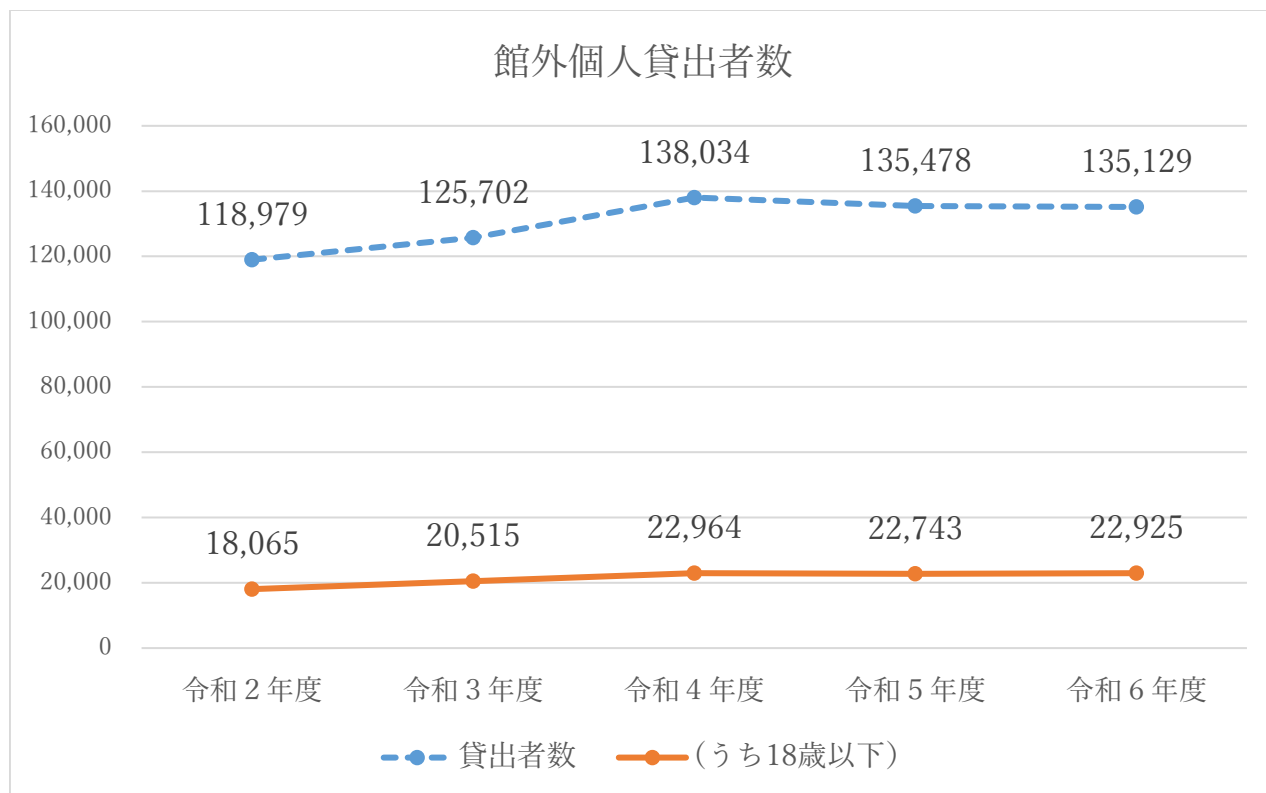
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数	261	255	302	304	283
入館者数	158,017	158,657	203,005	209,047	197,409
一日当たりの入館者数	605	622	672	688	698



○館外個人貸出者数

(単位：人)

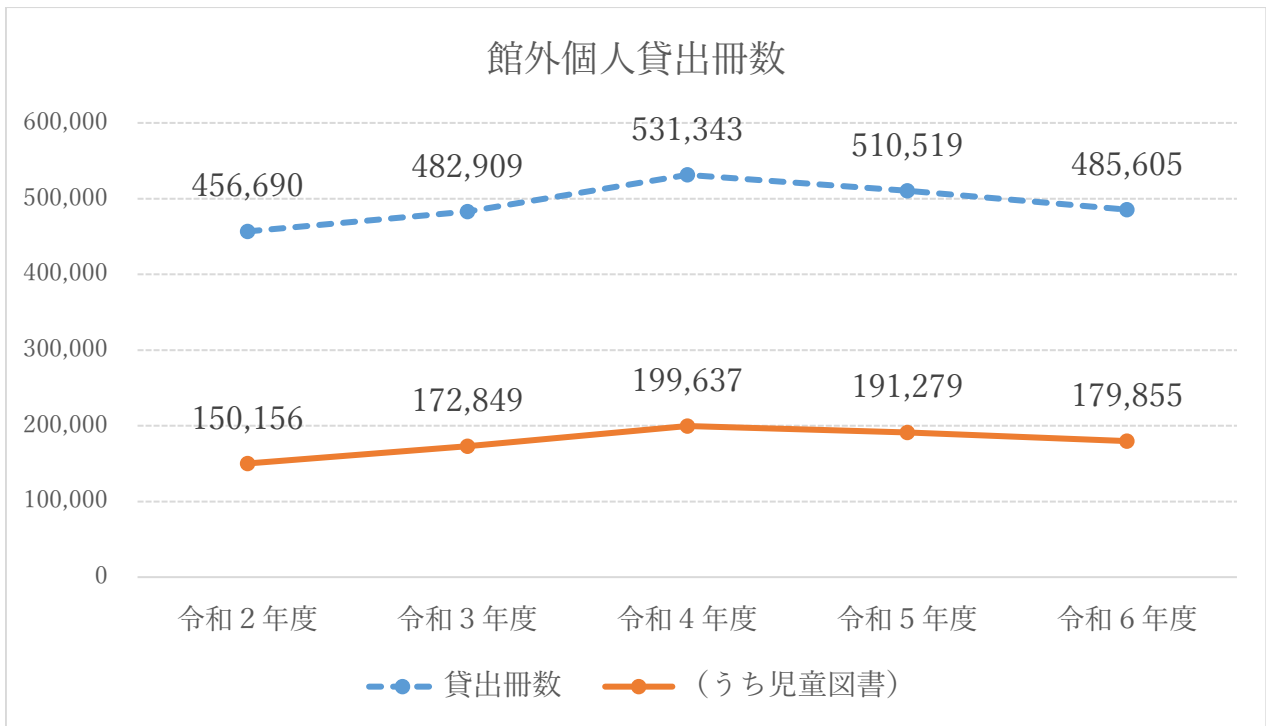
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
66歳～	31,445	32,854	36,847	36,558	38,077
51歳～65歳	27,354	27,956	30,112	30,202	30,044
41歳～50歳	20,916	22,360	24,436	23,672	22,950
31歳～40歳	15,416	16,301	17,095	16,538	15,035
23歳～30歳	4,124	4,379	4,868	4,278	4,869
19歳～22歳	1,659	1,337	1,712	1,487	1,229
16歳～18歳	1,162	1,365	1,351	1,324	1,650
13歳～15歳	2,208	2,232	2,595	2,763	3,035
7歳～12歳	10,574	12,096	13,859	13,888	13,514
0歳～6歳	4,121	4,822	5,159	4,768	4,726
合計	118,979	125,702	138,034	135,478	135,129



○館外個人貸出冊数

(単位：冊)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出冊数	456,690	482,909	531,343	510,519	485,605
(うち移動図書館)	19,781	25,096	20,440	20,065	20,489
(うち児童図書)	150,156	172,849	199,637	191,279	179,855
児童図書の割合	32.88%	35.79%	37.57%	37.47%	37.04%
一日当たりの貸出冊数	1,750	1,894	1,759	1,679	1,716
人口一人当たりの貸出冊数	4.0	4.2	4.7	4.6	4.5



○電子図書館利用状況

(単位：冊)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数	42,510人	44,090人	45,421人
ログイン数	7,146回	13,518回	24,442回
「郷土デジタル コレクション」閲覧数	719回	1,013回	800回
蔵書冊数	1,120 (内郷土資料165)	2,053 (内郷土資料241)	2,881 (内郷土資料287)

貸出冊数	分類	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	一般	2,671	5,501	6,608
	音楽・音声	263	174	123
	児童	1,232	5,354	15,559
	その他 (データ作成中)	26	31	16
	合計	4,192 (内郷土資料161)	11,060 (内郷土資料266)	22,306 (内郷土資料291)

*令和4年10月に導入。郷土資料は他の分野と重複している。

図書館では、「防府市立防府図書館資料収集要綱」及び「防府市立防府図書館資料保存及び除籍要綱」に基づく適正な選書・収集・保存及び廃棄に努めています。平成18年のルルサス防府に移転時、約31万冊だった蔵書は、現在、53万冊を超えており、利用者が求める資料を適切に提供することができるよう、収集と保存に努めています。

また、市内全域へサービスを提供するため、移動図書館車「わっしょい文庫」を導入し、現在は、市内6コース37ステーションを2週間に一度、定期的に運行しています。業務の継続により、図書館への来館が難しい利用者へ、身近な読書環境を届けており、利便性も良く、サービスが向上したと評価されています。今後も、利用人数や利用冊数のみにこだわらず、周辺地域の利用環境を確認しながら、適切にコースの見直しをする予定です。

第2次計画期間中に、新たな広報の手段として、SNS「Instagram」の情報発信がスタートしました。様々な年代の利用者に、いろいろな手段を使って情報を届けることが大切であり、図書館や本に親しみが持てるような情報発信が期待されています。

さらに、令和4年10月に、24時間いつでもどこでも利用できる新たな非来館型サービスとして開館した電子図書館は、利用が順調に伸びています。今後も貸出状況を注視し、利用者のニーズを見極めながら、資料の種類や購入数などを検討していく予定です。

図書館サービスを支える職員については、これまでも様々な機会を捉えて、研修や講習会等に参加していましたが、コロナ禍を受けてオンライン研修が盛んになったこともあり、研修が受けやすくなっています。今後もレファレンスサービス(※12)能力の強化が必要であり、フロアワーク(※13)といったサービスのためにも、職員の資質向上に努めています。



電子図書館を閲覧中

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

- (1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館
- (2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

【主な取組】

- ・コロナ禍でも対策を講じながら「防府図書館まつり」や「防府市子ども読書フェスティバル」を開催
- ・「防府図書館まつり」への中学生・高校生ボランティアの参加
- ・「図書館ボランティア養成講座」の継続開催

これまで多くのボランティアとの協働で、「防府図書館まつり」や「防府市子ども読書フェスティバル」を継続して開催し、大きなイベントとして定着していることや、図書館が様々なボランティアの活動の場となり、人々の楽しみや生きがいにもつながっていると、一定の評価を得ています。

また、例年「図書館ボランティア養成講座」を開催していますが、夏休みに開催した際に、中学生・高校生の参加もあったことから、内容やスケジュールの見直し等も含め様々な方法で、ボランティアの育成に努めています。

さらに、図書館が要請に応じて職員を派遣し、ボランティア主催のお話会や研修でブックトーク(※14)をする等、ボランティアとの連携・支援をさらに推進しています。



「防府市子ども読書フェスティバル」でのワークショップ

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

- (1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館
- (2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

【主な取組】

- ・作家（詩人や絵本作家、直木賞作家）によるトークイベントを開催
- ・展示コーナーで多くの展示を開催
- ・ビブリオバトル(知的書評合戦)(※15)の開催
- ・「大人のくらし塾」の開催
- ・「クリスマスおはなし会」の開催
- ・郷土児童文学作家「那須正幹氏」の追悼イベントを開催
- ・防府図書館利用者懇談会を開催

図書館では、様々な機会を捉えて作家等を招き、トークイベントやワークショップを開催しています。

また、職員は、利用者が興味・関心を持ちそうな行事や時宜を得たテーマについて、常にアンテナを張り巡らせて情報を集めています。展示コーナー等で毎年80回以上の展示を積極的に行っており、さまざまな図書館行事を開催しています。これらのことから、地域の文化向上に貢献していると評価をされています。

また、多くの生涯学習グループの活動拠点として利用されている図書館は、適切な機会や場、資料の提供を行うとともに、その活動支援のために市広報やホームページ、図書館だより等を利用して、ボランティアや講座、イベントについての周知を図っています。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

- (1) 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館
- (2) 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館
- (3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

【主な取組】

- ・ 図書館開館80周年を記念し、通称「三哲文庫」を付与
- ・ 名称標「三哲文庫」の設置と
「防府図書館80年の歩み」発刊
- ・ 防府史料の継続刊行
- ・ 郷土紙芝居の複製を作成し、貸出を開始
- ・ 「図書館を使った調べる学習コンクール」に特別賞「上山満之進賞」を創設
- ・ 大韓民国春川市との資料交換協定締結20周年を記念し、特別展示を開催



名称標

地域資料や防府関係資料については、年間で収集目標冊数を設定し、概ね計画通り実施できており、防府図書館独自の特徴的なコレクションが形成されていると評価されています。また、図書館における郷土資料の収集が広く知られてきていることから、寄贈という形で増加していることも併せて評価されています。

令和5年度には、図書館で活動するサークルが作成した郷土紙芝居を図書館が複製し、郷土資料として広く市民が利用できるようになったことが評価されています。

さらに、令和3年に、図書館は開館80周年を迎え、「三哲文庫」を通称にするとともに図書館入口に名称標を掲げました。

また、平成15年に始まった大韓民国春川市立図書館との資料交換協定が令和6年に20周年を迎えました。その間に、多くの韓国の現地資料を所蔵することができました。この度、20周年を記念して、韓国語や韓国に関する資料展示を行いました。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

- (1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館
- (2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

【主な取組】

- ・学校での選書会や授業での利用のため学校支援図書の貸出を実施
- ・山口県及び島根県の7市町村が合同で県央圏域連携として、新たなイベントを開催
- ・留守家庭児童学級の選書を代行し、貸出を実施
- ・地域文庫・貸出文庫の実施
- ・アスピラートやソラール、山頭火ふるさと館との連携企画を開催

○学校支援図書

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出件数(件)	332	673	733	619	776
貸出冊数(冊)	2,883	4,239	4,213	3,913	4,537

○地域文庫…公民館に15ヶ所に設置。各文庫200冊ずつ年4回配本。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出者数(人)	839	998	1,045	1,027	817
貸出冊数(冊)	2,172	2,622	2,514	2,606	1,951

○団体貸出

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出文庫	団体数	152	157	159	158	160
	貸出冊数(冊)	25,683	26,563	25,599	24,823	25,408
	貸出回数(回)	820	894	907	831	866
読書会文庫	団体数	3	2	2	1	1
	貸出冊数(冊)	117	138	104	74	69
	貸出回数(回)	23	25	20	12	12

図書館は、小学校での選書会のためのリスト作成や新刊本の特別貸出を実施するなど、積極的に学校図書館への支援をしています。

また、留守家庭児童学級を対象とした選書の代行をしていることもあり、こどもたちの読書環境を支援していることについて、評価されています。

さらに、生涯学習活動の拠点である公民館等に、地域住民へのサービスとして設置している地域文庫は、電子図書館や移動図書館と共に、図書館以外の読書環境を支えており、図書館へ出向くことなく資料の貸出や返却等が可能です。

防府市文化振興財団が指定管理をしていることから、財団内の他施設と連携し、さまざまな企画に関連した展示を開催することは、図書館の特徴の一つとして好評を得ており、今後も合同開催の継続及び周知が望まれています。

さらに、令和4年(2022年)8月に、ルルサス防府1階にルルサス文化センターが開設されたことにより、図書館には、笑顔満開通りの賑わい創出及び文教施設の一体的利用による相乗効果が期待されています。



地域文庫（新田公民館）

6 こどもたちの読書活動を進めていく図書館

- (1) こども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館
- (2) こども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

【主な取組】

- ・「防府市子ども読書フェスティバル」の開催
- ・講座「読書感想文教室」の新設
- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の開催
- ・「チャレンジ!調べる学習」を実施
- ・「さんさんおはなし会」の開催
- ・ブックトークやお話会などの出前講座・出張イベントの実施
- ・「子ども図書館員」の実施
- ・貸出文庫、学校図書館への支援



「さんさんおはなし会」の様子

図書館では、こどもの読書活動を推進するため、定期的なお話会や「子ども読書フェスティバル」など、こどもたちが本に親しみ、本好き、図書館好きになるイベントを積極的に開催しています。加えて、こどもたちが和やかな雰囲気を読書ができるように、ボランティア団体と連携して、親子読書コーナーの壁面を装飾する等、読書環境も整えています。

また、貸出文庫や移動図書館、選書会用本の貸出をする等、学校で本を利用する児童生徒の読書活動を直接的、間接的に支援しています。

さらに、こどもたちの調べる学習を推進する事業として「チャレンジ!調べる学習」を実施し、図書館資料を活用した学習の啓発のため「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しています。令和4年度からは、郷土について調べた優秀な作品に特別賞として、「上山満之進賞」を授与しており、コロナ禍で落ち込んだ作品応募数も、この数年は増加しています。

7 障害者や高齢者に優しい図書館

- (1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館
- (2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館
- (3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

【主な取組】

- ・ 防府図書館障害者等用サービス「ひなぎくネット」(※16)を開始
- ・ 令和7年4月「りんごの棚」(※17)設置
- ・ 令和4年10月から電子図書館を開館(障害者が利用しやすい資料の提供)
- ・ 図書館所蔵の音訳カセットをデジタルデータに変換し提供
- ・ 「月いちキネマ」の開催
- ・ 「大人のくらし塾」の開催
- ・ 市広報音訳ボランティアへ場の提供

高齢者や障害者が気軽に楽しく図書館を利用できるように、様々なサービスや情報の提供等を行っていることは評価されており、中でも高齢者等を対象とした「月いちキネマ」や「大人のくらし塾」は、毎回、大変好評です。今後も継続して開催することが望まれています。

また、令和3年4月には、国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスの送信承認館となり、デイジー図書のデータ等を視覚障害者等個人利用者にインターネット経由で送信することができるようになりました。そのため、図書館は、障害者への様々なサービスを集約して、「ひなぎくネット」と名付け、通常の活字による読書に困難を感じている方のために、様々なサービスを提供しています。また、令和7年4月に「りんごの棚」コーナーを設けて、特別な配慮を必要とするこどもを対象にしたサービスを開始しています。